

2011年度協定校留学近況報告書

記 入 日	2011年 11月 21日
留 学 先 大 学	ヴェルサイユ大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名（日本語）：文化研究所，（現地言語での名称）：Institut d'études culturelles <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他：
留 学 期 間	2011年9月－2012年5月
明 治 大 学 での 所 属	文学部文学科フランス文学専攻 / _____研究科_____専攻
学 年（出 発 時 本 学 での 学 年）	学部3年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 _____ 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

まず、本当に会話に苦労しています。日本語は母音が5個しかないのに比べ、フランス語では16個あることや、日本語には基本的に開音節しかないことなど、聞き取り、発音で不利になる要素が沢山あります。また当初、自分が怒られているのかと思うほど、高い声や大きい声で話す人が多いことが印象的でした。

さらに、日本では実家で暮らしていたため、銀行や行政の手続きなどほとんどしたことがなく、なかなか慣れずに、大変困りました。3ヶ月目にして、いまだに必要な手続きが終わっていない状況です。

II-1. 留学のための渡航前手続き（留学ビザ） ※詳細に記入して下さい

ビザの種類：学生ビザ・3ヶ月以上	申請先：在日フランス大使館・ビザセクション
ビザ取得所要日数：1ヶ月 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用：日本円で50ユーロ相当

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

- ・必要書類のチェックシート
- ・長期ビザ申請書（CampusFranceのアカウント番号を左上に記入・emplacement du talonの欄にフランス入国日を記入・パスポートと同じタイプの写真を指定箇所に貼り付け）
- ・パスポート現物（有効期限が15ヶ月以上）と顔写真ページのコピー（A4）
- ・留学先大学の入学許可書とそのコピー
- ・経済証明（現地で引き出し可能な銀行口座の残高証明など）とそのコピー
- ・住居証明（フランスで初めての3ヶ月間住む場所があることを証明する書類・寮の受け入れ証明など）とそのコピー
- ・移民局提出書類
- ・郵送での返信を希望する場合、600円の切手を貼り、宛名を書いた封筒が必要

具体的な申し込み手順を教えてください。

まず、CampusFrance（政府留学局）のアカウントを取得、オンライン申請を行い、申請が受理された後、料金15000円（交換留学生の料金）を東京日仏学院の口座へ振り込む。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

ありませんでした。

ビザ取得に関して困った点・注意点

留学生の出発が集中する時期に、ビザ申請をすることになると思います。ビザセクションの予約が20日ほど先まで埋まっていることがありますので、予約を早めにとっておくことが必要だと思います。基本的には、予約をした日に申請書類を提出し、書類が全て問題ないと判断されてから、約15日後にビザが発給されます。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

現地での生活費等の送金のために、私はCitiBankのeセービング口座を使っています。eセービング口座は割と簡単に作れ、口座維持料・最低口座残高などの制約がないとされています。しかし私の場合、メールアドレスが長すぎて登録できないなど、簡単には行きませんでした。

フランスでは、会計時に100ユーロ札などの高額紙幣を使うと、レジの方が不愉快になります。500ユーロなどもっての外です。なるべくなら20ユーロ札をある程度持って行った方がよいと思います。

荷物を送るとき、日本郵政が行っているEMSというサービスを利用するのは、やめた方がいいと思います。このサービスでは、フランス国内での配達を行う、クロノポストという会社がありますが、この会社の評判はあまりよくありません。トラブルやミスが多発しているようで、日本郵政が専用の苦情窓口を設ける程です。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	キャセイ・パシフィック航空				
航空券手配方法	HIS 池袋本店(接客担当の人の中には、こちらの指定した航空券が見つけれられない人もいますので、HISの航空券の情報サイトのページをプリントして持参したほうがいいかもしれません) ※利用した旅行社・旅行サイト, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	シャルル・ド・ゴール空港	現地到着時刻	10:10		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配 の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	空港から市内:約30分 市内から大学:約45分				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

空港から市内へは多種多様な移動方法があります、RERのB-3線を使うのが一番経済的ですが、観光客を狙ったスリなども多く危険です。私はエールフランス・バス Cars air france を使って、ポルト・マイヨ Porte Maillot まで行きました。片道15ユーロです。

市内から大学までは、SNCF(国鉄)トランジリアン Transilien のN線(モンパルナス Montparnasse 駅発)のランブイエ Rambouille 行き、トランジリアンのU線(SNCFラ・デファンス La Défense 駅発)のラ=ヴェリエール La Verrière 行き、RERのC-7線、を使って移動できます。大学名にもなっているサン=カンタン=アン=イヴリーヌ Saint-Quentin-en-Yvelines 駅の近くには、ほとんどの人文科学系、社会科学系学部のキャンパスがあります。

重い荷物を持って、エスカレーター、エレベーターのないパリの電車を利用するのは大変です。学校の出迎えもありますのでこれを使うと、楽なのではないでしょうか。

大学到着日	9月1日 15時頃
-------	-----------

2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他 ()	
住居の申込み手順	大学の事前登録手続き時に、CROUSの寮の申し込みの手続きができます。希望する場合は、書類を記入してオンラインで提出できます。その後、誓約書などを書きメールに添付してCROUSに送りました。 Eメールで契約に必要な書類が送られてくるので、読んで、サインして持参し、入居時に提示しましょう。	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？	
<p>CROUS のレジダンスの場所は、Google ストリートビューで再三確認し、記憶しました。迷うことはありませんでした。また、入居に際して銀行で住宅保険加入と口座開設をする必要がありますが、これをする前に、大きな荷物は受付の人に頼んで預かってもらうことができます。でも、貴重品は預けてはいけません。</p> <p>そして、Résidence Universitaire Vauvan の場合、CROUS の建物に入る時は、受付の番号というものが掲示されていますので、これをオートロックの端末に入力して、建物に入ることができます。</p> <p>一方で、メールで入居日時を知らせる必要がありますが、この連絡がうまくいきませんでした。しかし、この手のトラブルはこれに限ったことではなく、フランスでは非常に多いと感じます。心配な場合、着信しているか確認させていただくのも、ひとつの手かもしれません。しかし、何とか入居はできました。</p>	
3. 留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9月8日午後
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料（金額： ）
内容の様子は？	<p>交換留学生を全員集め、単位、履修などに関して説明を行います。冒頭の責任者の教授の方のごあいさつの中で、それぞれの国の生徒を呼び、挙手させるなどしていました。この時、「～先生（明治大学の教授の方）のことは知っている？」との質問がありましたが、正直に知らないと言ってしまい、ものすごい不信がられました。こういう場合は、とりあえず知っていると言った方がよかったと思いました。</p> <p>またこの際、複数の書類が配られ、これらにも大学への本登録の手続き、履修登録などの仕方、期限などが書かれています。また、授業の構成や、単位、留学生向けの授業に関する書類も同時に配られました。ちなみに、本登録の書類は透明のファイルに入った状態で、履修登録、授業構成に関する書類などの重要な書類は色つきの用紙に印刷されて渡されました。</p>
留学生用特別レジダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月12日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて	
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？	
<p>2009年に法律が改正され、必要なくなりました。しかし、ビザ有効化の手続きが必要です。イヴリーヌ県 Yvelines に住んでいる場合、モンルージュ Montrouge にある OFII（移民局）に受け取り証明郵便 AR1+Ravis de Réception を送る必要があります。その手紙には、①在日フランス大使館で VISA を受け取る際に、渡される書類の空欄をフランス到着後に埋めたもの、②パスポートの身分証明ページのコピー、③パスポートの VISA ページのコピー、④フランスに入国した時にもらうスタンプ（入国時に審査官に確認して、もらいましょう）のページのコピー、の4書類を封入します。あて先はイヴリーヌ県在住の場合、221 avenue Pierre Brossolette, 92120 Montrouge です。</p> <p>そして、呼び出し日時が書かれた手紙が返信されてくるので、その日に OFII に出頭します。モンルージュの OFII は、メトロ 13 番線の Châtillon - Montrouge 駅からすぐのところにあります。ここで健康診断、問診等を受け、その後 55 ユーロのタンブル、パスポートと同じ形式の写真、住所を証明できる書類（電気料金の請求書など）とそのコピーを提出し、パスポートそのものを提示する必要があります。</p>	
2. その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？	
<p>フランスの電力会社 EDF の登録をする必要があります。これは、利用者番号と、ワット数かなにかの、よく分からない電氣的な数字などを、電話で知らせるという手続きです。私は電話で会話することがうまくいかず、CROUS の方が代わりにやってくれました。その後 EDF から手紙が届き、この書類にサインするよという指示のある書類（銀行口座引き落としの同意書）と、銀行でもらえる RIB という口座識別の情報を印刷した書類を返信する必要があります。その後、前述の電気料金の請求書が届きます。</p>	

次に、住宅補助 Allocation au logement の手続きについてですが、まずオンラインで学生用補助のページ CAF-étudiants の登録を行い、発行される PDF 形式の書類を印刷する必要があります。その書類は、(1)補助申請の概要:日付・場所記入とサインをする、(2)管理人の方の記入用紙:大家さんにお願ひする、(3)両親がフランスの公的補助受給者ではないことの確認:現に受給しているか、過去に受給していなければ Non に印をつけ、日付・場所記入とサインをする、(4)必要書類・発想手順:ここに書かれた必要書類を同封し、書類上部に発送先の住所が明記されている、の4通でした。ここでいう必要書類は、外国人の場合、recto-verso という VISA とその有効証明 (OFII でもらえるステッカー) の見やすいコピーと RIB です。私は念のために、パスポートの身分証明ページも同封しました。また、書類(4)は、申請者番号が明記されていて、本人が保管する必要があります。

さらに、学生健康保険 LMDE の手続きをしました。加入にはまず、学校の登録書類の当該項目に印をつけ (SEMEREPE と LMDE の2種類あります。私は LMDE を選びましたが、選択も加入するかどうか自由なようです。) お金を払います (200 ユーロ強)。そうすると、かなり時間が経ってから (1ヶ月半) 手紙が届きます。ここには新制度保険証 carte vitale 2 の所持者でない場合は、手紙でその旨伝えるよう指示されているので、その通りにしました。ここまでしか終わっていません。

ちなみに郵便受けがある場所は、Résidence Universitaire Vauvan では、受付 accueil の隣の部屋で、カギは部屋のカギで開けることができます。

3. 現地で銀行口座を開きましたか? 手続方法、必要書類、日数、料金は? トラブルは?

私は CROUS で暮らしているのですが、口座開設と住宅保険加入 (銀行で加入できます) が必須です。そのことがずっと気になっていたのですが、出発前に CROUS から、パートナー銀行を紹介する書類がメールで届きました。パートナー銀行は2行あり、ル・クレディ・リヨネ Le Crédit Lyonnais とソシエテ・ジェネラル Société Générale です。私はソシエテ・ジェネラルを選びました。

メールで口座開設、住宅保険加入を希望する旨、何う日時 (12h00-14h00 はお昼休みの場合が多いです) を示し、そのメールに、パスポートの写真ページ、VISA ページ、大学の入学許可、CROUS の部屋割当証明を添付して、送信してください。その日時に何うと、あとはサインするだけという状態になっています。

次の日から、振り込みができます。振込は窓口で行われます。まず、振り込みをしたい旨を伝え、封筒をもらい、預金者名及び住所 nom et adresse du déposant、口座の持ち主 titulaire du compte、口座のある支店名 agence qui tient le compte、RIB (フランス国内で通用する口座番号)、振込金額、日付とサインを書き、お金を入れ、窓口へ渡してください。控えを渡され振り込みが完了です。

1週間後、カルト・ブルーcarte bleue というデビット・カードができています。ほとんどの場合これで買い物ができ、大変便利ですが、口座残高に気を付けるべきです。これには固有の暗証番号がありますが、これは手紙で知らされます。

また、小切手帳も手紙で送られてきます。

ちなみに、オペラ Opéra の周辺のパリの日本人街にあるル・クレディ・リヨネのピラミッド Pyramides 支店では、日本語で手続きができます。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか? 手続方法、必要書類、日数、料金は? トラブルは?

携帯電話に関しては、現地でプリペイド携帯を買いました。値段は機種によって、25ユーロ程度の物からありました。やはり購入に際し、対面でのフランス語の能力が相当必要だと感じました。しかし、移民局の手続き、学校の事務登録、病院の予約など、様々な場面でフランスの電話を持っているか聞かれ、ある方がスムーズだと感じました。また、予めフランスのプリペイド携帯のシステムなどに関して調べておくと、購入時の聞き取りの助けになるかもしれません。これに関しては、日本語で詳しく説明しているサイトが複数あります。ちなみに私は、Orange という会社の物を使っています。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか?

出発前に (月 日頃)

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他 ()

到着後に (10月3日頃)

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他 ()

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

まず、事前の簡易登録は、日本からオンラインで行う必要があります。そして、正式な本登録は現地で行います。現地の学生は登録事務 bureau des inscriptions で手続きをする必要があります、これは長く待たされたり、手続きが複雑だったり、多くの人を困らせている問題ですが、ヴェルサイユ大学では、国際協定事務 Direction des Relations Internationales (場所:Bât. d'Alembert 部屋:C124-C125)の方が本当に親切に手伝ってくれます。書類さえ揃えることができれば、ちゃんと登録できると思います。しかし、学生カードの受け取りまでは相当待つ必要があります、それまではオンライン・ポータル・ページで発行することのできる在学証明 certification de scolarité がその変わりになり、これが発行され次第、CROUS に入居している場合は、管理人の方に提出した方がよいと思います。

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

2. 履修単位数

一学期の登録単位数・科目数を教えてください。 5科目 15単位 多すぎた ちょうど良い 少なすぎた

留学先大学の学生は週平均何科目とるのが一般的ですか？ 10科目/週 (20時間) ぐらい

3. 授業内容

現在までに受講している授業はどのように授業が進められていますか？ (予復習, テスト準備など, アドバイスもご記入下さい。) (下記授業の履修時期: 2011年9月から2012年1月)

No.	コース名/教授名	時間数/週	留学先での単位数
1	Introduction aux sciences du langage Madame BERTOCCHI-JOLLIN Sophie Madame RAVONNEAUX Nathalie	1h/week 1h/week	3 ECTS
IEC(文化研究所)の授業です。上記の2名の先生が異なる曜日に1時間ずつ授業をして、1週間に合計で2時間、授業があります。この授業を受けるには、文法をしっかり理解している必要があると感じました。宿題がほぼ毎回あり、学期の中頃に、小テスト contrôle があります。それ以外にも、授業前にちょっとした質問に答えるような、確認テストのようなものがあります。			
2	l'histoire de l'art / Madame SIMON Clélia	1.5h/week	3 ECTS
IEC(文化研究所)の授業です。この授業の聞き取りは、結構難しいと感じます。大体の歴史がわかっていると、助けになります。また、スライドを切り替えるスピード、授業の進む速度が少し早いと感じることもありました。1.5時間で1世紀は当たり前前のスピードで、現地の学生でも、書き取れないことがあるようです。しかし、この授業のテストは留学生の場合、考慮されるようで、事前にメールで問題を送ってくれるそうです。希望する留学生は申し出るように言われるので、その時にメールアドレスを先生に知らせました。			
3	Grammaire en situation / Mademoiselle NOBIO Anne	2h/week	3 ECTS
ILEI(国際外国語研究所)の授業です。以下3つのILEIが開講している授業は、事前にクラス分けテストがあり、その結果で割り振られます。この授業は、中級レベルの文法の授業ですが、内容は基本的なことが多いです。その分、しっかり文法を覚えていると、聞き取りの助けになります。しかし、この先生は動詞の活用が分からないと、下のクラスに行くように促します。			
4	Culture et société / Monsieur HUCTIN Jean-Michel	2h/week	3 ECTS
ILEI(国際外国語研究所)の授業です。この授業では、フランスの文化と社会に関して映画を見たり、先生のプレゼン、または板書などで学びます。聞くことが中心の授業です。時々、映画の感想のレポート課題が課されたりします。テストでは、授業中に扱った内容の中でも特に基本的なものを問うと、先生は言っています。			

5	Initiation Vie Académie française Madame BERTAUX, Lucile	2h/week	3ECTS
---	---	---------	-------

ILEI (国際外国語研究所)の授業です。この授業では、フランスの公教育の仕組みや授業でのノートの取り方、レポートの書き方、論理展開の仕方など、フランスでの勉強の仕方を丁寧に教えてもらえます。テストでは、実際の授業を録音したものを聞いて質問答える問題や、文書を要約し、フランス人の学生がよく使う略字に書き換える問題、プチ小論文の序論と、結論部分だけを書くと言った問題が出ました。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00		9h30～					
10:00		文法の授業		10h30～			
11:00	言語学の授業 ～12h00	～11h30		芸術史の授業 ～12h00			
12:00							
13:00		13h00～		13h00～			
14:00		文化・社会の 授業 ～15h00		学生生活の 授業 ～15h00			
15:00							
16:00			16h30～ 言語学の授業				
17:00			～17h30				
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

授業数は少ないように見えても、私はフランス語ができないため、課題、予習、復習と時間をとらなければならず、ぎりぎりです。日本人は外国語を学び始める時期も遅く、言語系統的な関係もないため置いて行かれがちですが、やはり自分のペースを守った方がいいと思います。語学の授業は、担当の先生に申し出れば、いつでも自分のレベルにあったクラスに変えてもらえます。

こちらでは、知らない人でも結構気軽に挨拶をします。なので、エレベーターに乗り合わせた時など、なるべく挨拶をした方がよいと思います。

電車を利用する時、自動券売機でお札を使うことはまず無理です。一部使える機種もありますが、ほとんどの場合、コインかカルト・ブルーしか使えません。

ゴミに関してですが、フランスでは分別ということをしないうです。最初は、ガラス、缶などをすべて同じ袋に入れて、ゴミ置き場に捨てるのには相当抵抗があります。町役場のホームページを見る限りでは、分別をしていると謳っていますが、当の分別用ダスト・ボックス（蓋が黄色）を見たことがありません。駅前のカルフルでは、容器包装ゴミの回収をしているので、そこにペットボトルを持って行っていますが、ガラス、缶の回収はしていないようです。

また、私は9月5日から9月12日にかけて、留学生むけに夏期講習 séminaire d'intégration が開講されます。この講習では、語学の授業、図書館、最寄駅等、公共施設の利用方法の説明会だけでなく、近隣のお城やパリへの社会科見学、懇親パーティーまであり、これで110ユーロは安いと思いました。